

# 施工手順



## 【① 混練水計量】

- シェイカー目盛の赤い印まで水を入れます。
- ※ 標準配合は、1袋に対して水140ccです。
- ※ 水道水を使用してください。
- ※ 水温は**5~20℃**の範囲内としてください。



## 【② A材投入】

- 袋上端部を斜めにカットし、粉体を半分程度投入します。
- ※ 粉体内の顔料（黒色）が混ざっていない場合は開封前に軽くもみ込むように混ぜてください。注入材の発色が良くなります。



## 【③ 注入材混練】

- シェイカーの蓋をしっかりと締め、振り混ぜを行いません。
- ※ 振り混ぜ回数はA材投入ごとに**50回以上**としてください。
- ※ **シェイカー側面を強く握ると変形し液漏れします。**ご注意ください。



## 【④ ②・③繰り返し】

- ②で残しておいた粉体を追加投入し、再度振り混ぜを行いません。
- ※ 振り混ぜ回数はA材投入ごとに**50回以上**としてください。
- ※ **シェイカー側面を強く握ると変形し液漏れします。**ご注意ください。



## 【⑤ B材投入、攪拌】

- B材を**1本（約3.5cc）**投入します。ミキシングバーにて全体が均一な粘度になるまで攪拌します。
- ※ **水温が高い場合は粘度が高くなります。** B剤の量を1本の半分位から徐々に投入し調整してください。
- ※ 粘度を更に上げたい際は、増粘剤を追加投入してください。その際は少しずつ投入・攪拌し、微調整を行なってください。
- ※ **MAX=7cc（2本）**



## 【⑥ カートリッジ充填、プランジャー設置】

注入材をカートリッジ容器に充填します。プランジャーを設置します。

- ※ プランジャーは、逆さにしても漏れない程度まで押し込んで下さい。



## 【⑦ 口金フィルムカット、QIノズル設置】

フィルムカット用ノズルにて口金部のフィルムをカットします。口金部にQIノズルを設置します。

- ※ **しっかりと奥まで**締め付けてください。



## 【⑧ エアー抜き、エアー抜き確認】

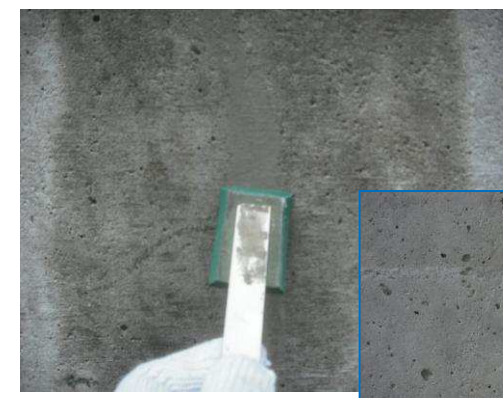
シーリングガンにカートリッジをセットし、ノズルを上向きに構えます。シーリングガンの吐出レバーをゆっくり握り、カートリッジ内の空気を抜きます。

- QIノズル吐出口まで注入材が来ている事を確認します。



## 【⑨ ひびわれ散水、注入】

施工面に霧吹き・ハケ等を用いて、水湿しをします。  
※ 本製品は湿潤状態で、より効力を発揮します。  
※ ひびわれがホコリ・泥等により目詰りが生じている際は高圧水洗浄等にて除去してください。  
ひびわれにノズル先端を垂直に押し当て、シーリングガンの吐出レバーを握り、注入します。  
圧力をかけながら、**ゆっくりと**ひびわれ上を滑らせ注入を行います。  
※ ノズル際ひびわれより注入材が滲み出てくる事を確認してください。



## 【⑩ 余剰材撤去、完了確認】

周辺にはみ出た注入材をひびわれに擦り込みながら除去します。注入材硬化後、細かい汚れ等を拭き取り又は、水洗いにて除去します。

- 目視にて充填状況及び、周辺の清掃状況を確認します。
- ※ 充填不良が確認された場合は、⑨を繰り返してください。